第16号
発行日　平成22年4月吉日(2010)
発　行　新潟産業大学校友会
責任者　石　塚　延　栄
編　集　新潟産業大学校友会事務局
新潟県柏崎市軽井川4730番地
TEL0257-24-8444（直　通）
FAX0257-24-8444

定期総会を顧みて

新潟産業大学校友会（青濤会）
会長　石塚延栄（短3期）

平成21年11月28日、「メトロポリタン松島」において第13回定期総会を開催。この季節にしてはまずまずの天候に恵まれ、全国各地から大勢の会員が集り大いに盛り上がりました。「決起集会」と位置づけた総会。皆様のご支援とご協力により無事終えることが出来ました。心から感謝とお礼を申し上げます。

わが母校は、昭和22年開学以来、幾多の困難を乗り越え、63年の歴史を刻み今日に至っております。創立以来の卒業生は一万名を超えております。学窓を巣立った有為な人材は、政治、経済、教育など多岐にわたる分野で活躍され、高度経済成長を支え、国の繁栄に貢献してきました。

会の組織は、現在県内に9支部（飯豊、新潟、佐渡、県央、長岡、柏刈、魚沼、上越、妙高）県外に4支部（北陸、関東、長野、東海）の13支部を設立、活動しております。全体を掌握する本部事務局を大学内に置き、「会員相互の親睦と母校の発展」を目的として、円滑な会務の運営にあたり、今後の発展と躍進に努めております。

一昨年来、長引く世界的不況の影響で国内経済は依然として視界不良であります。特に、雇用情勢は深刻な事態です。今春卒業の大学生のうち就職できない人が13万人に達すると報道され「就職氷河期」といわれた03～04年の水準になりました。フリーターや無業者が急増中で過去最多の見通しであります。

人的資源しかない我が国、高等教育がますます大切になる時代であると思います。全国776大学の8割を占める私立大学。今こそ建学の理念を再確認し、教育の在り方を探求すべきと考えます。直面する緊急の課題は生き残りです。未来へ、更なる一歩を目指して踏み出さなければなりません。

今回の総会で会長に再任されました。3期目です。難しい時ですが新鮮な気持ちで頑張ります。本部役員は全員留任して頂きました。「老・壮・青」一致結束前進します。

この機に、学園創立の恩人である下條恭平氏の遺徳を忍びつつ、母校の永遠の発展を祈念いたします。

本部、顧問・新三役

顧問	磯部卯之吉	（専1期）	留任
会長	石塚延栄	（短3期）	留任
副会長	小栗俊郎	（短11期）	留任
副会長	鈴木　茂	（大1期）	留任
副会長	中村　宏	（短17期）	留任
事務局長	片桐　健三	（短16期）	留任

学校法人 柏専学院 理事、評議員

（校友会会員で理事、評議員の方）

副理事長	小栗俊郎	（短11期）
理事	樋口榮治	（短18期）
評議員	小栗俊郎	（短11期）
評議員	樋口榮治	（短18期）
評議員	片桐健三	（短16期）
評議員	金井英雄	（短16期）
評議員	鈴木　茂	（大1期）

本部総会模様

懇親パーティー

石 塚 会 長

モンゴル相撲演技

馬　頭　琴

津軽三味線

「コンパクト・ユニバーシティ」の第一歩を踏み出しました

新潟産業大学学長　広川俊男

同窓生の皆様には、日頃よりご支援・ご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の青濤会会報でご案内の通り、4月より経済学部「経済経営学科」と「文化経済学科」の1学部2学科体制がスタートして1年が経ちました。大学のミッション（使命）を「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」に据え、地域との連携を重視した様々な取り組みを展開しています。

コンパクト（compact）は、言うまでもなく「小さくて中身が充実しているさま」であり、今回の再編をぴったり表す言葉です。その核となるのは、60年を超える揺ぎない伝統を誇る「経済」です。私達は、そこに「経営」「文化」「教養」「技術」「語学」など、長く培ってきた専門分野を濃縮化し、小さいが個性豊かで魅力的な大学を目指します。学生一人ひとりの顔が見えるきめ細やかな授業を通じて経済・経営の基礎をしっかり学ばせます。同時に、コミュニケーション能力や社会人基礎力、そして、グローバル社会の課題にも、先行きが懸念される地域の諸課題にも積極的に対応できる知識と資質を身につけた人材を育てます。

ここで、この1年間を振り返ってみます。

4月は、久々に「入学者定員」を確保しました。

5月には校友会との共催で、新潟市内において川村裕子、蓮池薫両先生による「講演会」を実施しました。

夏には、蓮池薫先生の著書『半島へ、ふたたび』が第8回新潮ドキュメント賞に輝きました。

秋は、学生達がスポーツの分野で活躍しました。ライフセービング、水球、空手のチームと、アーチェリーの宇佐美祐生君（経済経営学科2年生）がインカレに出場しました。また、ゴルフの佐藤由香利さん（経済経営学科1年生）が新潟県ゴルフ選手権大会で優勝し、国体選手として活躍するとともに、関東学生連盟会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権大会でも優勝しました。

12月28日付朝日新聞の教育面で、「学部改組や経営努力で収支や充足率を改善させた大学」として紹介されました。

平成20年度後半から、同窓生を対象としたリフレッシュセミナーを開催しています。本学の教員はもちろん、過去に教鞭をとられたことのある先生方にも加わっていただいております。ご案内の手段が限られておりますので、時々、大学のホームページをご覧いただければ幸いです。（http://www.nsu.ac.jp/）

同窓生の皆様におかれましては、引き続き、本学の周知、学生の就職、社会人学生や聴講生としての学びなおしなどに積極的なご支援を賜りたく存じます。本学に現在在学中の社会人学生数は10名で、その内1名が同窓生です。私は、もっと多くの同窓生に本学の大学生や大学院生になってほしいと願っています。

都市部大規模大学のマスコミを総動員した広報活動に対しては、焦ることなく「本学の良さを的確に伝える」口コミ作戦が不可欠です。また、「就職に強い産大」も深刻な経済不況の中で苦戦を余儀なくされております。真面目で、素直で、頑張り屋と評価も高い本学の学生の採用にご支援を賜りたくお願い申し上げます。

最後に経済的支援についてお願いいたします。平成20年の8月から21年3月まで実施された学園創立60周年記念事業募金には171名の同窓生から計119万9千円のご寄付をいただきました。このご寄付は、フィールドワーク授業や部活動のためのスクールバス購入費用の一部として、全額使わせていただきました。その前年の震災復興募金と合わせ、皆様に改めて御礼申し上げる次第です。

そして、昨今の大学を取り巻く厳しい環境、特に、大規模大学の地方への攻勢に対抗するには、どうしても、これまで以上の物心両面にわたるご支援が必要です。大学としては、今後毎年、他の大学や後援会のように継続的な募金を呼びかけさせていただきたく存じます。何卒よろしくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

千年生きる和紙

原　刀利松（短7期）

"和紙は千年、絹は五百年"とも言われていますが、かつて正倉院に残る千年以上昔に漉かれた紙の新鮮な輝きを忘れることはできません。そしていつかは私もそんな紙を造ってみたいと思い続けてきました。

昨秋、神奈川県のあるクリニックの院長さんからファックスがはいった。化学物質過敏症の患者が増えているが、最近は"紙"によるアレルギーがみられます。手を尽して各地の和紙をとり寄せて試してみましたが昨今漉かれた紙はどれも化学物質が混入しており、アレルギーを防ぐことはできなかった。もしできたら、昔のような紙を漉いてもらえないかといった内容でありました。

私はかねてからの思いを実行してみることにしました。

抄紙工程において化学物質を使っているのは、原料の煮熟における苛生ソーダや、ソーダー灰と、漂白のためのジア塩素酸。それに和紙特有の"流し漉き"に必要なトロロアオイを保存しておく液に防腐剤として用いるクレゾールなどです。現在の抄紙には効率化やコストを下げるためにほとんど、これらの薬剤を使用せざるを得ないのが実態です。

まず、木灰を熱湯に入れ上澄み液を作る。PH十二程の濃度の水を五十リットル、二日がかりで作ります。穫れたての楮を蒸して皮をむき取り、表皮を取り除く。これを準備した水で一日がかりで煮ます。ソーダー灰で煮たものと比べると、とても良い状態で煮上がりました。漂白は、雪晒しが最高であるが、まだ雪は無いので今回はアク抜きを充分にして、未晒しの原料を使うことにする。畑から掘りおこしたばかりのトロロアオイをつぶして粘液を抽出します。

こうして漉き上げた紙は、まあまあの出来だが、果たして化学物質過敏症に対してどんな反応を示すのか。また、千年生きる紙に近づけたのか。答えが出るのは遥か先であります。

茶の心

宮嶋　文男（短8期）

木村茶道美術館にお世話になっています。この美術館は、茶道具を展示し、また、茶席を設けてお茶を点(た)てて来館のお客様にお持て成しをしている館です。わたしは、茶道具やお茶に纏わる話をしています。◆わが国に茶が伝来したのは奈良時代とのこと。喫茶の法は時代を経て色々と変わり今日では「日常茶飯」と言う言葉がある程に日本人の生活に密着し習慣化し定着している。食事時のお茶。家庭、職場を問わず来客には先ずお茶を出す。就業前と休憩時にもお茶を飲む。会合や宴席にも。式典等の催しで来賓の接待でお茶は欠かせない。野良仕事にも行楽にもお茶が伴う。「お茶飲んで行かんかね」。挨拶にも使われる。斯様にお茶は人と人を繋ぎ、人と人の心を結ぶ大きな役割を果たしている◆溯って喫茶の法を見ると●奈良時代には寺院の仏事に供茶として●平安時代には公家の文人趣味になり●鎌倉時代には武家の礼法に、また寺院僧侶の行道の資としても活用される。栄西が「喫茶養生記」を著わし、滋養豊富な抹茶が新来の妙薬として

卒業生と市民のための講座･講演会開催案内

校友会では昨年度、大学と連携し、卒業生のためのリフレッシュ講座、講演会を新潟市で開催致しましたが、非常に好評だったため、今年度は上越市で開催致しますので、是非、会員の方は市民のみなさんをお誘いの上、大勢参加して頂きたくご案内申し上げます。

1. 日時　平成22年5月29日（土）
　14：00～15：30（13：30開場）入場無料
2. 会場　ホテルハイマート（2階　宝泉の間）
　上越市中央1-2-3（TEL：025-543-3151）
3. 演題　「問題な日本語」の氾濫
4. 講師　北原保雄氏

講師紹介　柏崎市出身
■筑波大学名誉教授（前筑波大学長）■文学博士■日本学生支援機構前理事長■新潟産業大学理事■新潟産業大学客員教授■著作、講演活動のほか、テレビなど多方面で活躍中

普及、病者への施与にも用いられた●「茶道」が成立するのが室町から安土時代。喫茶の法は異なるが、やはり、何れも人と人の心に深く拘っているのである◆わたしは茶道館に来て下さるお客様に一期一会の気持ちを大切にして、一服のお茶を享受しています。お客様が「今日は楽しい一時を過ごすことができた。日頃の忙しさを忘れた。心が和んだ。また、来たい」。等々この日を有意義ならしめるべく話題や話し方、そして聞き方にも心を込めた応接を心掛けています。後日、礼状を頂くこともよくあり有難いことです◆千玄室氏はお茶の心は禅で謂う処の「和敬清寂」であり、それは、人と人が絆を結び深める原点であると同時に人間愛そのものであると説かれています。

今年度、秋の叙勲をいただいて

新潟短大卒業生としての喜び

藤井　三明（短10期）

私は、秋の叙勲で瑞宝双光章（郵政事業功労）をいただき、家内共々天皇陛下の拝謁があり、身にあまる思いと感激の極みです。大学・OBならびに関係者からお祝いの言葉をいただき感謝しています。何よりも嬉しいことは卒業後、交通事故で、現マルソー㈱会長の渡邉氏は命の恩人です。人の生死は一瞬であり、懸命に生き今日に至ったことを報告します。

教員をあきらめ郵政畑で国営事業に携わり、お客さまあっての郵便局で働き地域の方々と一緒に働いた仲間の支えに胸がつまる思いがします。

今日、日本の文化・安全・信用が崩壊されつつあり、危機管理つまり防犯管理体制を強化し、職員を犯罪から防ってやること、自ら犯罪を起こさない。これらが今回の受賞に関係していると思うと大変うれしく思っています。

日本の社会状況は、格差社会の到来で少しづつ変化しています。私は仕事を進めているなかで、サービス理念と職業倫理は何故必要なのかなど、学生も経営者も本当に正しく理解しているのでしょうか。手を抜いてはならないと思います。不正な手段を使ってはならない。今、盛んにコンプライアンスを重視し、犯罪のない職場を期待します。これからの社会は温暖化や自然環境の悪化で社会が乱れ、化石燃料を大量に消費する時代です。子は親を殺す、親は子を殺す悲惨な時代です。郵政民営化にはもちろん反対です。民営化は避けて通れないとしても、公共性をもち続け、郵政事業一三〇年の歴史の中で郵政改革の見直しがどう進むのか注目したいものです。

先日、校友会最大のイベント、本部総会で懐かしい学園歌を皆んなで合唱しました。広川学長は建学の精神と地域社会に貢献する大学を目指すと申しており感激しました。私も短大卒業生の一員として、叙勲を心の支えとし、七十代になり前期高齢者の仲間入りへボチボチ近づいていますが、大学の頃を思い出し忘れないようにします。他人への思いやりや相手の立場を尊重しながら「分かちあいの心」を大切に、「困った時」「悲しい時」「嬉しい時」率先して手を差し出す活動をします。そして奉仕への提案も約束します。そのため自分の意識改革と自立しながら「痴呆」にならない様に注意して、人生を送ろうと思っています。

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の多くの皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。多くのみなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。又、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

非常に厳しい状況の中ではありますが、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願い申し上げます。

新潟産業大学の就職状況（就職資料より）

2009年度 就職行事 拝見 ■

●TOEIC講座【平成21年10～12月】

●春学期日常公務員講座【平成21年4～7月】

●学生とハッピー･パートナー企業が語る会【平成21年7月】

●メーキャップ講座【平成21年11月】

●就活激励会【平成22年2月】

●就職合宿研修会【平成22年2月】

平成22年３月卒業予定者就職速報！

平成22年１月末日現在

1月末日現在の内定状況は下表のとおりで、全体の内定率は、70.7％です。

		経済学部			人文学部			産業システム学部			学部合計		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	合計
今年度	内定率(%)	68.1%	91.7%	71.6%	50.0%	—	50.0%	71.4%	—	71.4%	67.5%	91.7%	70.7%
	内定者数	47	11	58	2	0	2	5	0	5	54	11	65
	上場企業内定率(%)	17.5%	9.1%	15.7%	0.0%	—	0.0%	40.0%	—	40.0%	19.1%	9.1%	17.2%
	上場企業内定者数	7	1	8	0	0	0	2	0	2	9	1	10
	就職希望率(%)	84.1%	85.7%	84.4%	80.0%	—	80.0%	50.0%	0.0%	46.7%	79.2%	80.0%	79.3%
	就職希望者数	69	12	81	4	0	4	7	0	7	80	12	92
	卒業予定者数	82	14	96	5	0	5	14	1	15	101	15	116

注１：外国人留学生を除き、９月卒業の日本人学生５名(経済１/人文３/産業ｼｽﾃﾑ １)を含む。
注２：内定率(%)＝内定者数÷就職希望者数
注３：就職希望率(%)＝就職希望者数÷卒業予定者数
注４：上場企業内定率(%)＝上場企業内定者数÷{全内定者数－(公務員合格者数＋個人経営家業内定者数)}

平成21年度学生支援推進プログラム採択のお知らせ

文部科学省の大学教育・学生支援推進事業に本学の取組が採択されました

■本学の取組

『就職支援を通じた「学士力」「就職力」「教育力」強化プログラム』が文部科学省平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマＢ】学生支援推進プログラム」に採択されました。
採択された取組の概要は以下のとおりです。

■取組の趣旨･目的

Webを活用した就職支援システムを構築し、即応性や利便性に優れた就職情報提供体制を卒業生・在学生に提供するとともに、資格取得や基礎的スキルを学習する各種講座を展開することにより学士力の向上を図る。

また、本学の教育力の測定に対するフィードバックを得るため、卒業生在籍企業を中心に訪問し情報収集に努める。

■取組の内容

就職支援システムの構築として、Web求人票管理システム、学生就職活動状況のデータベース化、卒業生管理システムの導入、運用を行う。

また、就職力アップのために就職合宿を、学士力スキル向上のためにＴＯＥＩＣ対策講座、公務員特別講座等を開講する。

卒業生在籍企業訪問に際しては、本学の教育力測定に関する設問シートと求人票収集用大学パンフレットを用意する。

■取組の達成目標

就職支援システムにより学生個々のカルテを作成し、個別指導の体制を確立する。

就職ガイダンスや学内合同企業説明会、単独企業説明会の参加履歴や各種資格講座の受講履歴により個別対応のきめ細かい指導を行う。

各種資格講座については、在学生が保持すべきスキルの重要性を周知徹底することにより、受講率の引き上げを図る。

本取組の内容、経過、成果等に関する情報は、今後本学ホームページに掲載いたします。

大学教育・学生支援推進事業【テーマＢ】学生支援推進プログラムとは

大学教育・学生支援推進事業は、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取り組みの中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取り組みを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。
独立行政法人 日本学生支援機構 学生支援推進プログラムの詳細はこちら

http://www.jasso.go.jp/sien_suishinpro/sien_suishinpro.html

新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

柏崎市体育協会はその年に優秀な成績をあげ、柏崎地域の体育・スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し、毎年表彰を行っています。

今年も本学から、個人２名、団体１が表彰を受けました。

表彰式は２月６日（土）柏崎市産業文化会館で行われました。

表彰された学生および表彰された公認部の大会成績は以下のとおりです。

【表彰された学生・個人】

■優秀競技者賞

【個人】 ●佐藤由香利（ゴルフ部）

■競技者賞

【個人】 ●宇佐美祐生（アーチェリー部）　　【団体】 ●空手道部

【表彰された団体・個人の主な成績】

クラブ名	大会名	部門･種目および大会出場者名(学年)		成　績
空　手　道　部	第35回北信越学生空手道選手権大会(4月)	個人組手	阿部祥朗(経4)、梅川達矢(経1)、小林匠(経1)	出 場
	第54回北信越大学空手道選手権大会(9月)	団体組手	阿部祥朗(経4)、遠藤祐哉(経4)、梅川達矢(経1)、小林匠(経1)、西潟雅樹(経1)	優 勝
	第53回全日本大学空手道選手権大会(11月)	団体組手	阿部祥朗(経4)、遠藤祐哉(経4)、梅川達矢(経1)、小林匠(経1)、西潟雅樹(経1)	出場(予定)
卓　球　部	第21回亀田オープン卓球大会(4月)	一般男子の部	周陳忱(経1)	ベスト16
			伊藤知玄(経3)、長谷川健輔(経3)、横田将人(経3)	出 場
	第57回春季北信越学生卓球選手権大会(5月)	シングルス	周陳忱(経1)	ベスト16
			関宏宇(経4)、伊藤知玄(経3)、長谷川健輔(経3)、横田将人(経3)	出 場
		ダブルス	関宏宇(経4)、周陳忱(経1)	ベスト16
			伊藤知玄(経3)、横田将人(経3)	出 場
	平成21年度夏季北信越学生卓球選手権大会兼第76回全日本学生卓球選手権大会北信越地区予選(8月)	シングルス	周陳忱(経1)	ベスト16
			横田将人(経3)	出 場
	第57回秋季北信越学生卓球選手権大会(10月)	シングルス	関宏宇(経4)	ベスト16
			長谷川健輔(経3)、横田将人(経3)、周陳忱(経1)	出 場
		ダブルス	関宏宇(経4)、周陳忱(経1)	ベスト8
			長谷川健輔(経3)、横田将人(経3)	出 場
水泳部（水球部門）	第13回東日本水球リーグ戦(5月)	松岡達也(経4◎)、井上智史(経3)、大山剛史(経3)、関下和宏(経3)、高祖裕介(経3◎)、千綿研二(経3◎)、徳江繁明(経3◎)、中野恭平(経3◎)、仲村泰信(経3◎)、秋元恵臣(経2◎)、丹野翔平(経2)、野一色健太(経2◎)、屋富祖達郎(経2◎)、田中翔史朗(経1◎)、崎山裕哉(経1◎)、金城徹大(経1◎)、斉藤渉(経1◎)、吉里健龍(経1)、森雄平(経1)、四家大樹(経1)		2部4位
	2009年度関東学生水球リーグ戦(6～9月)			2部4位
	第85回日本学生選手権水泳競技大会【水球競技】(9月)※出場者は学年の後に◎印のある学生のみ			出 場
モンゴル相撲部	第2回仙台モンゴル相撲大会(5月)	個人	巴図巴雅爾(バドバヤル)(経4)	1 位
			巴図吉呼蘭(バトジフラン)(経1)	2 位
			布仁吉日拉(ブリンジリガラ)(経1)	3 位
			烏雲朝克図(ウヨンチョクト)(経4)	ベスト8
			哈斯額爾登(ハスエルドン)(経4)	
			胡日査満都拉(フリチャマンドラ)(経4)	
			阿拉騰烏拉(アラタンウラ)(経2)	
	新潟産業大学モンゴル相撲大会(10月)	個人	巴図巴雅爾(バドバヤル)(経4)	7 位
	東京ブフクラブモンゴル相撲大会(10月)	個人	巴図吉呼蘭(バトジフラン)(経1)	3回戦進出
			図日巴図(トリバト)(経3)	2回戦進出
	三重県モンゴル文化祭(10月)	個人	巴図吉呼蘭(バトジフラン)(経1)	ベスト8
			宝音満達呼(ボインマンダフ)(経4)	2回戦進出
			胡日査満都拉(フリチャマンドラ)(経4)	
			畢力格図(ビリゲト)(経4)	
女子バレーボール部	第31回信越大学バレーボール大会(4月)	高島さおり(経3)、菅山真琴(経3)、尾﨑優里(経3)、堀内愛奈(経2)、丸田梓(経2)、山岸夏生(経1)		出 場
	第57回春季上越バレーボール大会(4月)			3 位
	第40回北信越大学男女バレーボール選手権大会(5月)			3部3位
	新潟日報杯争奪兼2009年度第54回柏崎バレーボール選手権大会(8月)			出 場
	第32回信越大学バレーボール大会(9月)			2部下位リーグ1位
	第57回秋季上越バレーボール大会(10月)			3 位
	第57回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会(10月)			出場(3勝1敗)
ゴ　ル　フ　部	関東女子アマチュアゴルフ選手権決勝(5月)	個人	佐藤由香利(経1)	12 位
	第12回新潟県知事杯新潟県ゴルフ選手権(5月)			5 位
	日本女子アマチュアゴルフ選手権(6月)			82 位
	関東女子学生月例ゴルフ選手権(6月)			2 位
	第5回新潟県NGAゴルフ選手権(6月)			2 位
	第12回新潟県女子アマチュアゴルフ選手権(7月)			優 勝
	第11回ヨネックスレディスゴルフトーナメント(8月)			104位
	第63回国民体育大会ゴルフ競技(9月)	団体		8 位
		個人		56 位
	第45回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権(11月)	個人		優 勝
アーチェリー部（同好会）	新潟県室内アーチェリー選手権大会(1月)	リカーブ・男子	宇佐美祐生(経2)	2 位
	第10回全日本学生アーチェリー個人選手権大会(2月)	リカーブ・男子		49 位
	新潟県学生室内アーチェリー選手権大会(2月)	リカーブ・大学男子		1 位
	第31回北信越学生アーチェリー対抗戦(5月)	リカーブ・男子個人		1 位
	第20回全日本学生アーチェリー西日本大会(6月)	リカーブ・男子		32 位
	第64回国体新潟県1次予選アーチェリー大会(6月)	リカーブ・成年男子		2 位
	第64回国体新潟県2次予選アーチェリー大会(6月)	リカーブ・成年男子		5 位
	第64回国体新潟県3次予選アーチェリー大会(7月)	リカーブ・成年男子		6 位
	第29回北信越学生アーチェリー個人選手権予選ラウンド(7月)	リカーブ・男子		3 位
	第29回北信越学生アーチェリー個人選手権決勝ラウンド(8月)	リカーブ・男子		3 位
	第64回国体新潟県4次予選アーチェリー大会(8月)	リカーブ・成年男子		4 位
	第64回国体新潟県最終予選アーチェリー大会兼新潟県アーチェリー選手権大会(8月)	リカーブ・成年男子		4 位
	第48回全日本学生アーチェリー個人選手権大会(9月)	リカーブ・男子		33 位
	第19回A.J.S.A.F.Cup(9月)	リカーブ・男子		12 位
	河野杯室内アーチェリー大会(10月)	リカーブ・成年男子		4 位
	北信越室内選手権大会(11月)	リカーブ・成年男子		4 位
	第13回北信越インドアアーチェリー個人選手権大会(12月)	リカーブ・男子		2位タイ(3位)
	AN杯室内アーチェリー大会(12月)	リカーブ・成年男子		出場予定

酒蔵見学とグルメの旅

二〇一〇年は柏崎市政七十周年の年です。
同窓生の皆さん、ぜひ柏崎市にお越し下さい。
同期会等を計画されている年次の方はお手伝いをさせていただきます。ご一報下さい。
参考にモデルコースを作成いたしました。
尚、四月から「越の誉」の原酒造が酒蔵を開放し、試飲コーナー、売店などを設置します。
人数、日時等は問いません。ご利用下さい。

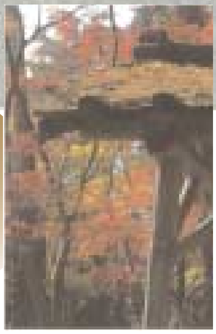
1日目

柏崎駅集合
13:00

木村茶道美術館・松雲山荘内散策
13:30　鑑賞・お手前にて一服　14:30

原酒造酒蔵見学・試飲買い物
15:00　16:00

ホテルシーポート又は岬館
16:30



●松雲山荘の紅葉

2日目

ホテル
9:30

田中角栄記念館
10:00　10:30

東京電力サービスホール
11:00　12:00

日本海フィッシャーマンズケープ
12:30（昼食・買い物）14:00

柏崎駅前解散
14:30

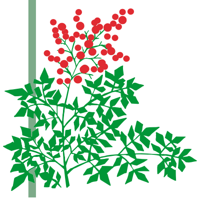
●田中角栄記念館

●日本海フィッシャーマンズケープ

■お申し込み･お問い合せは
㈱第一旅行サービス
〒945-0051　柏崎市東本町1-1-2
TEL　0257-21-1551㈹
FAX　0257-21-0087
携帯　090-3343-2189
E -mail　ftsjapan@kisnet.or.jp
担当　代表取締役 田中茂行（短大17回卒）

◎同期会等を計画されている方は是非ご一報下さい。

支部だより



青濤会県央支部定期総会

支部長 渡邊 喜彦（短16期）

平成21年9月13日（日）、県央支部の定期総会を、三条市の福祉センターで開催。学校から広川学長様、本部より、石塚会長、小栗副会長、片桐事務局長そして、新田関東支部長、河野新潟支部長、金井長岡支部長、渡辺魚沼支部長、吉田飯豊支部長、畑山妙高支部長と遠路、多くの支部長様にご参会頂き、総勢32名にて無事開催する事ができました。

今年は、若手役員の増員と会員の積極的な総会参加に向け、新たなる第一歩を踏み出した会であったと思います。

私は、まず会員の校友会参加率の向上と積極参加が、母校の発展と我が同窓諸兄の其々の発展へと繋がる重要な条件であると確信しているところです。その視点でわが県央支部は、役員の一新と会員全員の積極参加をめざし、今後も結束力ある支部になるよう、活力ある活動を展開して参りたいと思います。会員諸兄の絶大なるご協力を願いし報告といたします。

長岡支部総会

支部長 金井 英雄（短16期）

昨年9月6日、未熟の私が皆様のご推薦で支部長を仰せつかりました。身が引き締まる思いです。お受けしました以上、微力ながら任期まで精一杯努力致しますので、皆様のご協力・ご支援を節にお願い致します。

総会はご来賓の皆様を含めても出席者は、わずか38名での総会でした。（会員数約千百人）。引き続き、花ケ前盛明先生より、『大河ドラマ天地人と与板の武将たち』の講演をお聞き致しました。先生のお話は立て板に水の如く、あっと言う間に予定の時間に成りました。機会がありましたら、この延長を是非お聞きしたいと思っています。その後、懇親会では、大変和やかの中で盛会裡に終了致しました。今回思った事は、折角ご縁が有って私達は『産大で学び』今日が有るのですから、ご縁を大切にして、次回は自ら進んでご参加をぜひお願い致します。

佐渡支部定期総会

支部長 濱田 毅（短18期）

十月十七日（土）、旅館「浦島」を会場に、支部創設三回目の定期総会を開催しました。

当初の計画よりも三カ月遅れでありましたが、本部より石塚会長、片桐事務局長、そして、河野新潟支部長、渡邊県央支部長がご多忙の中、駆け付けて下さいました。

総会では、石塚会長から母校の現況を含め、支部総会は参加人数の多少にかかわらず

継続することが大事である。特に若い会員の活躍に期待するとの熱いお話がありました。

渡邊県央支部長の乾杯の発声で始まった懇親会は、いつものように和やかな雰囲気の漂う中で進みました。総会の時間が延びたことと、帰りの船の時間の関係で、沢山準備した佐渡のご馳走や酒を召し上がっていただくことができなかったことが残念でした。次回は、一泊出来るような会をという要望もありましたので、是非実現したいと思っています。

関東支部総会報告

山口浩一郎（大2期）

平成21年11月7日、御徒町「放心亭」にて青濤会関東支部総会が開かれました。私自身は約6年振りに参加させて頂きました。総会では現在の大学の定員と学生充足率等が報告されました。かつて二学部450名あった定員も定員割れが続いたため、一学部160名まで減らしていますが、留学生を積極的に受け入れる等の努力により、昨春は定員と同数の入学者を確保出来たとの事でした。私達大学二期の頃は定員200人を超える入学者があり、活気がありましたが、年々厳しくなっているようです。私が所属していた弓道部が団体を組めない状況を見ると本当に淋しい限りです。

今回の関東支部もそうですが、現在校友会で中心になって頂いているのが専門学校・短大出身の方々で大卒は殆どいないのが現状です。少しでも産大を盛り上げるためにも積極的に総会への参加をお願いします。

長野支部定期総会

支部長　綱嶋　正幸（短6期）

平成21年12月5日(土)、JR長野駅前「もみじ茶屋」で長野支部第6回定期総会を開催しました。

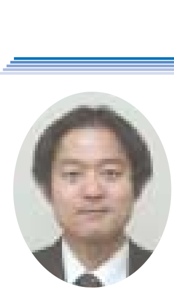
来賓として、校友会本部会長石塚延栄様、同事務局長片桐健三様、上越支部長佐藤孟様、妙高支部長畑山文夫様、同事務局長瀬戸満雄様のご臨席をいただきました。

総会では、来賓各位から、それぞれご挨拶をいただき、次の議題について審議され、それぞれ承認されました。

(1) 平成21年度本部役員会模様
(2) 平成21年支部長・事務局長連絡会議模様
(3) 支部活動状況報告
(4) 支部収支決算報告
(5) 今後の取り組みについて

今後の取り組みについては、まず役員が率先して、一人でも二人でも総会出席者の仲間を増やす呼びかけをしていくこと。総会の内容も堅苦しい議題だけでなく、遊びを入れたイベント的なものも検討していく必要があるのではないかとの有意義な意見をいただきました。

恩を感じる処に人生がある



柏・刈支部　松原　弘明（大3期）

中越沖地震から2年がすぎ、柏崎市の復興も進みました。「さらなる再生」をかかげて昨年夏には復興公営住宅が完成し、また多くの一般住宅の再建も進んだようです。町並みも大小変わりましたが、それでも人々の活気も戻ったと思えます。

私は地元、柏崎の大学である母校新潟産業大学へ進学することができ、卒業後は柏崎市内の事業所で営業としてがんばっています。今では、母校に仕事でお世話いただくこともとても多く、またやりがいのある仕事をさせていただき、感謝するばかりです。

先日、お客様との会話の中でハイチ大地震が話題に上がりました。連日報道される被災と混乱の様子を話すうち、話題は中越・中越沖地震へ。お互い当時の混乱の中で、自衛隊やボランティアによる救援や援助のありがたさを思い出しました。

自宅に飾ったカレンダーに「人は恩恵に包まれて生きている。恩を感じる処に人生がある」とあります。

まだまだ仕事に追われるばかりですが、仕事への情熱と恩を忘れずに精進していきたいものです。

42年ぶりの同期会

品田　眞弘（短18期）

昨年の11月、3年に1度の校友会定期総会に合わせて、短大第18期卒業生の同期会を開催しました。卒業してから42年余り、突然の案内にも関わらず男女合わせて18名の方から参加していただきました。

総会後の懇親会で盛り上がったあと、席を改めての同期会では、お互いに酒を酌み交わしながら近況を語り合い、懐かしいアルバム片手に思い出話にも花が咲きました。そこには42年間という歳月の流れを全く感じさせない「仲間同士」の笑顔と会話がありました。

宴会終了後も全員一部屋に集まって、当時のアルバムや今回参加できなかった仲間からのメッセージを読みながら、時間の経つのも忘れて語り合いました。

誰かが「まるで修学旅行みたいだね」と言った言葉に、全員が「納得！」でした。そこにはそれぞれが頑張ってきた人生がありました。そして、還暦という人生の節目を過ぎてなお、お互いに元気で再会できたことに心から感謝しつつ、3年後の再会を約束して別れました。「みんなそれまで元気で頑張ろうね！」

柏崎市　メトロポリタン松島にて

第29回NTTぐみやま会総会模様

近藤　幸雄（短7期）

今年は、9月5日午前10時半に17名が上越市に集い、屋台会館で開かれている天地人博を見学し続いて、御館跡公園を見て割烹松風園に入りました。そこで和やかに談笑しながら昼食をとり、出席者の近況報告などを行って第29回の総会を開きました。

今年の特記事項は、

① 久しく顔が見えなかった9回卒の新保さんが出席してくれたこと。また東京から15回卒の野中さんと大9回卒の歌代さんが出席してくれたこと。32回卒の中嶋さんが子供さん（新潟大学医学部学生）をお連れになり長野から出席してくれました。3歳位の頃、家族で出席されていたのを覚えていた人は、あまりのご成長振りに自分の歳を取ったのを忘れて驚いていました。

② 親睦を育みながら発展して来たぐみやま会でしたが、発足当時から会の中心的な存在であった坂野先生が亡くなられたこと、会員の高齢化が進み参加者が固定化の傾向にあること。併せて幹事をしてくれる方に大変なご負担がかかること。など幾つかの要素が重なって会合を開くのは、今年を最終にすることにしました。

「最終にするには余りにも惜しい」。と言う声もありひとしおの寂しさがありましたが、今年が潮時ではないかと言うことで決定しました。

総会終了後は、希望者で市内の史跡めぐりをしました。1207年専修念仏の禁止により越後に流された親鸞聖人がここに上陸した地といわれる居多ヶ浜、越後七不思議の1つと言われる国府の片葉の芦を見たり、由緒ある居多神社を参拝、五智如来を安置してある国分寺等を見学したりしました。今年の見学には、上越市の認定ボランティアガイドの資格を持つ当会会員の18回卒の土田宏さんが、最初の天地人博から始まって史跡巡りまで、分かりやすく詳しくユーモアを混えての案内で、一層楽しい見学にしてくれました。

昭和56年から30年にわたって有意義に続いて来たNTTぐみやま会でしたが、名残を惜しみながら皆さんの健康を願いつつ夕方それぞれの家路につきました。

上越市　割烹 松風園にて

事務局だより

今冬は昨年の暖冬から一転して、26年ぶりの大雪となり、めまぐるしく異常気象が続いていますが、いまだ、世界はアメリカの金融危機に端を発した、不況から脱却できず、日本も経済、金融危機でデフレ不況から抜け出せず、雇用情勢は一段と悪化し、大変な時代を迎えています。

一方、大学では昨年4月から学部学科の再編により新しく文化経済学科がスタートし、多くの受験生が県外大学を志願する非常に厳しい中で、定員確保することができ、新生新潟産業大学が誕生しました。

校友会も大学との連携、地域との連携を更に強化するため、今年度は上越市で卒業生ばかりでなく、市民からも参加して頂き、大学のPRをも兼ねて講演会を実施致しますので、多くの会員、市民の方の参加をお待ちしています。

さて、昨年は、11月に3年に1回の本部定期総会を開催しましたが、大勢の会員のみなさんからご出席を頂き、成功裡のうちに終了することができましたこと、改めて感謝申し上げます。

校友会では、ホームページを開設していますので、新入会員のみなさんは、自分の所属支部をご確認下さい。所属支部の行事には是非参加して頂き、交流の輪を広げてもらうことを願っております。

平成21年度の動き

◇本部定期役員会（5月新潟）
決算、予算、事業報告、事業計画を審議承認
◇支部長、事務局長会議（10月長岡）
◇本部定期総会（11月柏崎）
◇本部定期総会実行委員反省会（1月柏崎）
◇新年度事業計画、及び予算会議（3月柏崎）
◇各支部総会の開催は次のとおり
支部総会　＊新潟（5月新潟）
＊柏刈（6月柏崎）
＊新潟県央（9月三条）
＊長岡（9月長岡）
＊佐渡（10月佐渡）
＊関東（11月東京）
＊長野（12月長野）
◇職域、同期会の開催は次のとおり
＊専1期会（6月寺泊）
＊短4期会（10月柏崎）
＊短16期会（11月長岡）
＊短18期会（11月柏崎）
＊NTTぐみやま会（9月上越）
＊久味山柏刈有志の会（7月柏崎）

平成22年度予定される動き

◇本部定期役員会（5月上越）
◇青年部長会議（7月柏崎）
◇支部長、事務局長会議（11月長岡）
◇支部総会の開催予定
＊上越（5月）
＊妙高（5月）
＊北陸（6月）
＊柏刈（6月）
＊飯豊（7月）
＊東海（7月）
＊魚沼（9月）
◇職域、同期会の開催予定
＊久味山柏刈有志の会（9月）
＊短16期会（10月）
＊専1期会（10月）

この他予定されている会合がありましたら本部事務局までご連絡下さい。

◇本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日　10時～16時まで

〒945－1393
柏崎市軽井川4730
新潟産業大学校友会事務局
TEL　0257－24－8444（直通）
FAX　0257－24－8444
E-mail:seitou_h@ada.nsu.ac.jp

編集後記

母校へ「生涯の愛」と「会員決起」再任された石塚会長の心の叫びだ。

2011年はレルヒ少佐が金谷山でスキーを教えて100年。そのレルヒに日本画を教えたのは柏崎市安田出身の片桐文邦。

日本と大韓帝国が「併合条約」を結び100年。日・中二つの歴史研究も興味深い。東京新潟県人会も創立100年。

歴史の中にあたたかさ・やさしさ・ぬくもりのある校友会を構築していく必要がある。会長の一言を心に刻みたい。

（編集担当）小栗俊郎（短11期）

■追信――㈱いき出版が企画した写真アルバム「柏崎・刈羽の昭和」に新潟産業大学の昭和30年代が数枚登場します。